
未定

青二才

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未定

【NZコード】

N80540

【作者名】

青一才

【あらすじ】

未だ定まっておりません

方等学園の南館にある図書室。

元々は百年以上前に建てられたものだが、幾重にも渡る改装工事のため、中は至つて現代的に纏められている。

一般の大学図書館にも等しく、何列にも及ぶ本棚と机が佇み、自習机はもちろん、ビデオスペースすら設けられていた。

利用性の高さから放課後利用する生徒も少なからずおり、それは今日も変わらない様だ。

室内には、十数名の生徒。

一人一人が落ち着いた雰囲気を作り出し、彼ら個人としても図書室の一部にふさわしい光景となつてている。

そんな中 カウンターの内側で隣合つて座る男女が一組。

対応用と事務用の二段構成となつてているカウンターの下段。

周囲からは見えにくい造りとなつてているそこで、役人の様にテキパキと業務をこなしている。

否。放課後の委員が一人だけでする業務などない。彼らがしていたのはメモを使った会話。

委員用に用意されているメモ用紙を惜し気もなく、静かに千切る。文字を連ねてから、相手が見える場所スライドさせる。

その往復。

どうしても何かを話したい時、彼らはこの方法を使った。

口頭では声、携帯では校則が邪魔になり、その条件下で考え付いた最善策で、後には外見的に安全という理由もついた。

少年のメモが少女の目の前にスライドされた。

「……神隠し？」

「そうです、神隠し。知っていますか、王手さん？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8054o/>

未定

2010年11月9日05時27分発行